



SDGs 未来都市
岡山県 真庭市

地域でクラウドファンディングに挑戦

日本一のミツマタの産地を復活させたい！

～子どもたちがふるさとへ愛着・誇りを持って育ててもらうために～

岡山県真庭市（まにわし）にある、檜邑（かしむら）地域で、いつまでも住み続けられる地域づくりを目指し活動する『檜邑地域きらきら計画実行委員会』は、かつて日本一の紙幣原料の産地と称された「三椏（みつまた）の郷」復活を目指し、クラウドファンディングに挑戦します。

山あいの檜邑地域は人口約500人、中山間地域としても元気を失いつつありますが、檜邑には、ミツマタ栽培から和紙に加工する工房・職人など、人の「知恵」と「技術」が、かろうじて残っています。それを生かして、地域内の檜邑小学校では子どもたちが紙漉きを練習し世界で1枚だけの卒業証書をつくり、地域に誇りを持って卒業していきます。

昨年、真庭市が「SDGs 未来都市」に選定されたことをきっかけに、これからも住み続けられる地域にしようと、地域内の団体が一つになって檜邑が「きらきら」輝く事業を行っていく実行委員会ができました。

クラウドファンディングの目標は、ミツマタ・和紙ほか地域の資源を活用して、これまでの活動を継続しながら新しいアイデアも取り入れ、すべての世代が一緒になって檜邑を盛り上げていくというものです。以下のプロジェクトページをご覧ください。応援いただければ幸いです。

クラウドファンディング内容

FAAVO 「日本一の三椏（みつまた）の郷を再興したい！」

クラウドファンディングページURL (<https://faavo.jp/okayama/project/3731>)

FAAVO>ふるさとクラウドファンディング>中国・四国>岡山

期間 2019年5月15日～6月18日 (35日間)

目標額 1,000,000円 (使いみち: ミツマタの植栽・管理、体験学習、イベント等の開催)

返礼品 ミツマタを使った和紙や化粧品など 27 種

※ミツマタ：中四国地方の特産木。コウゾ、ガンピとともに和紙の原料になり、明治以降は紙幣の原料として使用。現在紙幣の原料はほとんどが輸入品。

問い合わせ先

檜邑（かしむら）地域 きらきら計画実行委員会 事務局 大塚知子
〒719-3211 岡山県真庭市檜西 3524-1 TEL080-6331-5505
メール kirakira.kashimura@gmail.com

参考

岡山県真庭市とは

出力1万キロワットのバイオマス発電所が稼働するなど、藻谷浩介著の「里山資本主義」の舞台の一つで、国連が掲げる「持続可能な開発目標」を地方都市レベルで実践する「SDGs未来都市」に、内閣府から選定された岡山県北に位置するまちです。美しい高原の広がる「蒜山（ひるぜん）高原」、露天風呂番付西の横綱「砂湯」のある「湯原温泉」、勝山町並み保存地区などの観光地に加え、希少なジャージー牛を使ったチーズやヨーグルトなどの乳製品、B-1グランプリでゴールドグランプリを受賞した「ひるぜん焼そば」などが有名です。

檜邑地域とは

真庭市の中ほど、旧久世町内にある人口約500人の谷あいの集落。かつて紙幣原料のミツマタ生産量日本一を誇り「一万円札の里」と呼ばれていました。ミツマタを主原料とした和紙を漉く「檜邑和紙工房」が立地しています。地域にある檜邑小学校は、全校児童数8人。人数は少ないながらも、豊かな自然の中で全校児童が兄弟姉妹のように、仲良くのびのびと成長しています。



地域内の地域づくり・生産活動される皆さんの顔を集めました